

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	心理学実験		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	加藤 裕史、飯塚 稔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
様々な心理実験の計画を立案し、実験から得られたデータをエクセル入力し、記述統計について学ぶ。また、各種実験や心理検査から心のありようを理解し、援助者として必要な構えを学ぶ。レポートの書き方についても学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
成績評価の方法は、レポートとプレゼンテーション資料とする。成績評価基準は、レポート70点、プレゼンテーション資料30点の計100点とし、学習状況と出席状況を総合して、試験素点の70%、出席評価点20%、平常評価点10%の100点満点とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは使用しない。随時、資料を配布する。 参考図書「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」(金子書房)、「心理学実習基礎編」(培風館)、「心理学実験法・レポートの書き方」(ナカニシヤ出版)、「心理学検定基本キーワード集」(心理学検定局編)						
《授業外における学習方法》						
授業内で行った実験に関連する原著論文(日本語)を探して読むこと。						
《履修に当たっての留意点》						
実験を通して、心的機能の理解に努めること。レポートは体験してすぐに作成することが大切である。可能であれば、Microsoft OfficeがインストールされたPCやタブレットを持参すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	独立変数と従属変数の違いを理解する。	PPT 配布資料		
		各コマにおける授業予定	「心理学実験に関する基礎知識」実験とはどのようなものか、独立変数と従属変数、レポートの様式について概説する。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	鏡映描写の実験条件を理解する。	鏡映描写装置 記録用紙	独立変数と従属変数について復習する。	
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験①」鏡映描写実験により、技能学習習得のプロセスと学習の転移、両側性転移について体験的に学ぶ。実験条件の統制について理解する。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	鏡映描写実験の手続きを理解する。	鏡映描写装置 記録用紙	実験手続きについて熟読する。	
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験②」			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルへのデータ入力の仕方と数式の使い方を理解する。	鏡映描写装置 記録用紙	結果の整理の仕方を熟読する。	
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験③」			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルでグラフを作成できる。	鏡映描写装置 記録用紙	考察のポイントを熟読する。	
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験④」実験結果から、技能学習のプロセスと転移について考察する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	レポートのフォーマット(書き方)を理解する。	鏡映描写装置 記録用紙	レポートの書き方について熟読する。
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験⑤」鏡映描写実験のレポートを作成する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神物理的測定法の違いを理解する。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	心理学検定対策テキストから、精神物理的測定法、体性感覚の項を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾①」		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きと、実験を統制する意味について理解する。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾②」		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解し、正しく実験を行うことができる。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾③」結果について考察する。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	体性感覚と特徴を説明できる。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾④」実験結果をまとめ、考察する。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験条件を考えることができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	心理学検定対策テキスト「錯視」に関連する項目を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「錯視①」精神物理的測定法、主観的等価点などの心理学の基本的な概念を学ぶ。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解し、教示を含め正しく実験ができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「錯視②」錯視図形を用いて錯視量を測定する。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解することができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「錯視③」錯視図形を用いて錯視量を測定する。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルシートへの入力、グラフ作成ができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「錯視④」エクセルシートにデータを入力し集計、レポートを作成する。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解する。	PC PPT 無意味綴り 配布資料 記録用紙	心理学検定対策テキストから「記憶」に関連する項目を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「記憶①」無意味綴り、有意味語、日常記憶と3種類の記憶に関する実験を行い、それぞれの特徴について学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	記憶のプロセス、想起の仕方を説明できる。	PC PPT 無意味綴り 配布資料 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶②無意味綴り」無意味綴りを用いて、実験を行う。		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	系列位置効果を説明できる。	PC PPT 無意味綴り 配布資料 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶③無意味綴り」無意味綴りを用いて、実験を行う。データを収集し、グラフを作成する。		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験条件を理解する。	PC PPT 有意味語 配布資料 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶④有意味語」有意味語を用いた記憶課題を行う。		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	記憶課題の内容による記銘と想起の違いを理解する。	PC PPT 有意味語 配布資料 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶⑤有意味語」有意味語を用いた記憶課題を行い、想起の無意味綴りとの違いについて考察する。		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	日常記憶の特徴について理解する。	配布資料 記録用紙	心理学検定対策テキストから「記憶」に関連する項目を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「記憶⑥日常記憶」実験的記憶と比較し、日常記憶の特徴、想起について学ぶ。		
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験的記憶と日常記憶の相違点と、生活への影響について理解する。	PC 配布資料 記録用紙	全てのデータを入力しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「記憶⑦」エクセルシートにデータを入力、グラフを作成し、レポートを書く。		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	プライミング現象を説明できる。	PC 配布資料	資料を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「プライミング①」実験内容、実験条件を説明、練習試行の実施。		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	正しい教示ができる。	PC 配布資料	教示の熟読。
		各コマにおける授業予定	「プライミング②」本実験の実施。		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルでデータを整理できる。	PC 配布資料	配布資料を通読する。
		各コマにおける授業予定	「プライミング③」結果の整理。		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	プライミング現象の特徴を説明できる。	PC 配布資料	結果の整理と考察のポイントを読む。
		各コマにおける授業予定	「プライミング④」考察。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	神経心理学的検査の特徴を理解する。	PC 配布資料 課題	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「神経心理学的検査①」線二分テスト、利き手テスト、文字流暢性テスト、ストループテストを行い、脳機能の特徴について理解する。		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	教示ができる。	PC 配布資料 課題	教示と記録方法について熟読する。
		各コマにおける授業予定	「神経心理学的検査②」検査者役と被検者役になり、本実験の実施。		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳機能の局在性を説明できる。	PC 配布資料	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「神経心理学的検査③」結果をまとめ、レポートを作成する、		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	心身相関現象を説明できる。	PPT 配布資料 唾液アミラーゼモニター	参考図書の中から、ストレスとストレス反応に関する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「ストレスの測定①」唾液アミラーゼモニターを使い、ストレス反応を調べるための実験条件や実験方法を考える。		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	ストレス反応について説明できる。	PPT 配布資料 唾液アミラーゼモニター	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「ストレスの測定②」実験を行い、レポートにまとめる。また、唾液アミラーゼ以外のストレス評価について考察する。		
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	SD法を説明できる。	PPT 配布資料 SD法用紙	実施方法、教示を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「SD法①」SD法を実施し、手順や分析方法、イメージの捉え方について、体験的に学ぶ。		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラフを作成することができる。	PPT 配布資料 SD法用紙 PC	参考図書の中からアンケート調査に関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「SD法②」結果を整理し、グラフを作成する。		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	SD法による調査用紙を作ることができる。	PPT 配布資料 SD法用紙 PC	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「SD法③」結果をもとに、レポートを作成する。		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	構成概念とは何か、理解する。	PPT 配布資料 PC	心理的構成概念について調べておく。
		各コマにおける授業予定	「SD法④」各自、何らかのイメージ調査用紙を作成する。		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	類型論と特性論を説明できる。	PPT 配布資料 INV FFFPQ パーソナリティテスト	参考図書の中から、関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「質問紙法①」類型論と特性論に基づく質問紙法による心理検査を体験し、集計と結果の解釈を体験的に学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	信頼性と妥当性を説明できる。	PPT 配布資料 INV FFFPQ パーソナリティテスト PC	各心理検査の解説を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「質問紙法②」結果をもとにレポートを作成する。		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	質問紙法と投影法の違いを説明できる。	PPT 配布資料 P-Fスタディ 風景構成法	参考図書の中から、関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「投影法①」バウムテストとP-Fスタディを体験する。結果の集計と解釈の方法を体験的に学ぶ。投影法実施時における、検査者の関与しながらの観察を体験的に学ぶ。		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	スコアリングの仕方を理解する。	PPT 配布資料 P-Fスタディ 風景構成法	スコアリングの方法、解釈の内容を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「投影法②」スコアリングを学ぶ。		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	解釈の難しさを理解する。	PPT 配布資料 P-Fスタディ 風景構成法	スコアリングの方法、解釈の内容を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「投影法③」結果を解釈し、レポートを作成する。		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	心理学的構成概念について理解する。	配布資料 PC	参考図書の中から、関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう①」アンケートの作り方を学ぶ。		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料 PC	配布資料「アンケートの作り方」を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう②」どのようなアンケートを作るのか、課題や構成概念を調査する。		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	回答方法のバリエーションを理解する。	配布資料 PC	配布資料「アンケートの作り方」を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう③」回答方法を検討し、アンケートを作成する。		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際にアンケートを行う際の留意点に気づく。	配布資料 PC	配布資料「アンケートの作り方」を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう④」お互いに、アンケートを取り合い、フィードバックする。		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	全てのレポートの完成。	配布資料 PC	未完成のレポートの資料を読む。
		各コマにおける授業予定	予備「レポート作成」レポート完成を目指す。		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	心理実験の意義を理解する。	配布資料 PC	レポート作成を継続する。
		各コマにおける授業予定	予備「振り返りとまとめ」授業の総括。		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第47回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第48回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第49回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第50回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第51回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第52回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第53回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第54回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第55回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			